沖縄国際大学
経済学部
地域環境政策学科

環境系ゼミの紹介

ゼミとは？？

- 大学では、一人一人の時間割が違います！
- 受ける授業を自分で決めます。
  （といっても、各学年の必修科目もあります）

- **ゼミとは？**
  → 高校でいう**HR**にあたる科目
  ✓グループでの調査活動
  ✓（四年次）卒業研究
  ✓レクリエーション活動

他の講義と違い、受講生（ゼミ生）同士が**仲良く**なります

ゼミとは？？（2）

- **ゼミとは？**
  →　高校でいう**HR**にあたる科目
- グループでの調査活動
- （四年次）卒業研究
- レクリエーション活動

- 地域環境政策学科では：

１年次：クラス分け 20名程度（一人の先生で一年間）
２年次：クラス分け 16名程度（担当の先生が半期交代＝二人）
３－４年次：**自分が選んだ**先生のゼミに所属　～13名程度
→　ゼミ活動、合宿、調査旅行、就職活動、卒業などなど

1. 伊藤拓馬ゼミ（環境地学）

伊藤拓馬ゼミの紹介
（2021年開講予定）

研究の分野：環境地学（自然科学）

テーマ：地学の視点から
沖縄の過去・現在・未来を考える

研究テーマの例

1. 環境問題（例えば、沖縄の土壌汚染，地質や自然環境を調べる）
2. 地域文化（例えば、焼き物や琉球藍染めを科学的に調べる）

フィールドワークを通して沖縄や世界の環境問題を調べる！

フィールドワークでは
調査船に乗ることも！

地下を深く掘って試料を採取.
試料を調べて過去の地球環境を調べる！

ときには最先端の分析技術に触れます！

ハンドヘルド蛍光エックス線分析

高速エックス線CT

2. 山川彩子ゼミ（水域生物学）

OKIU -College of Eco

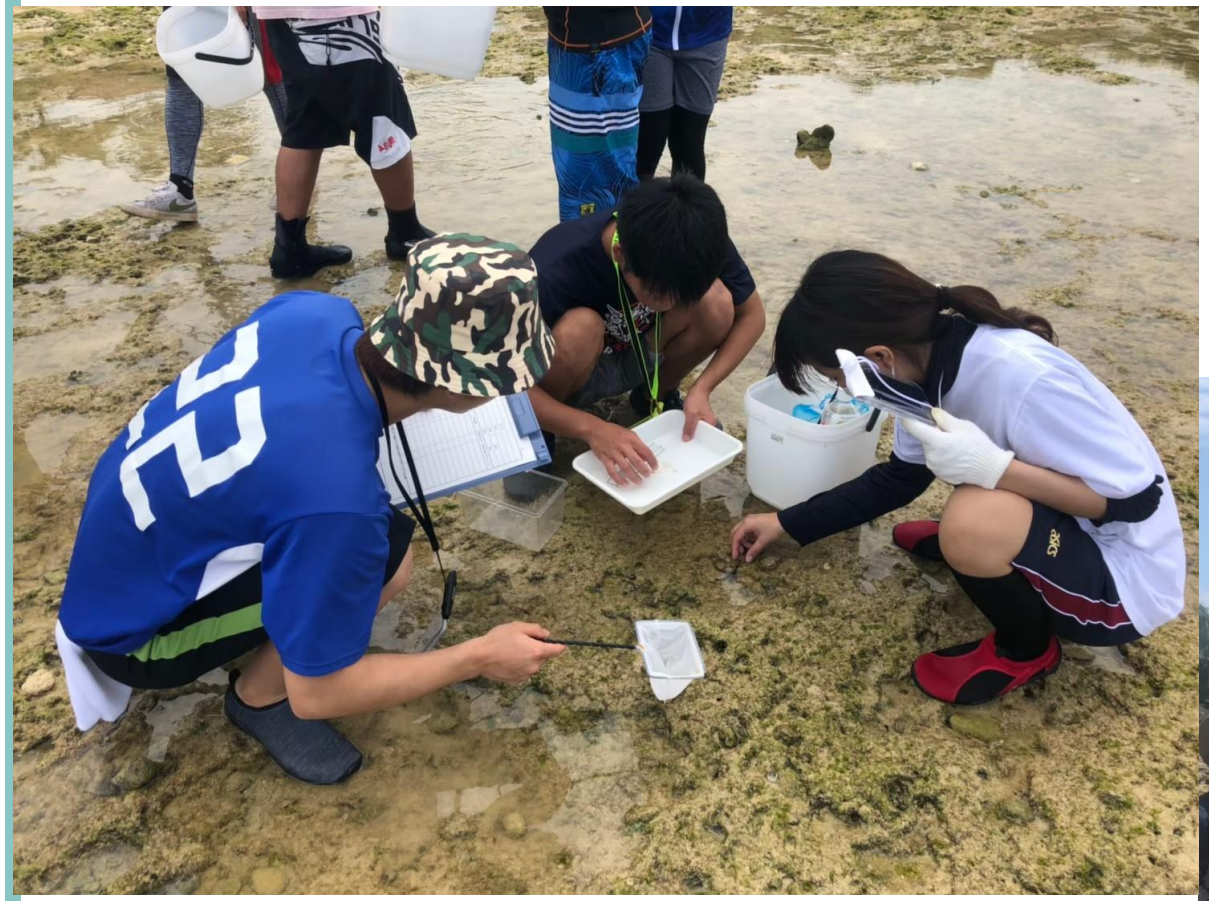
3・4年ゼミで伊良部島へ！

山川彩子ゼミの紹介

研究の分野：

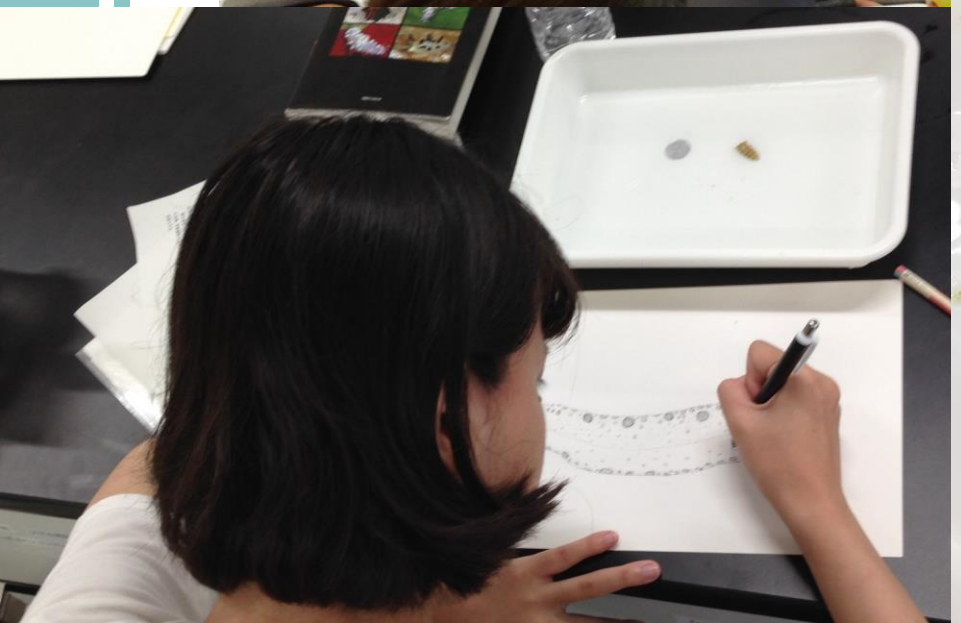
水域環境生物学

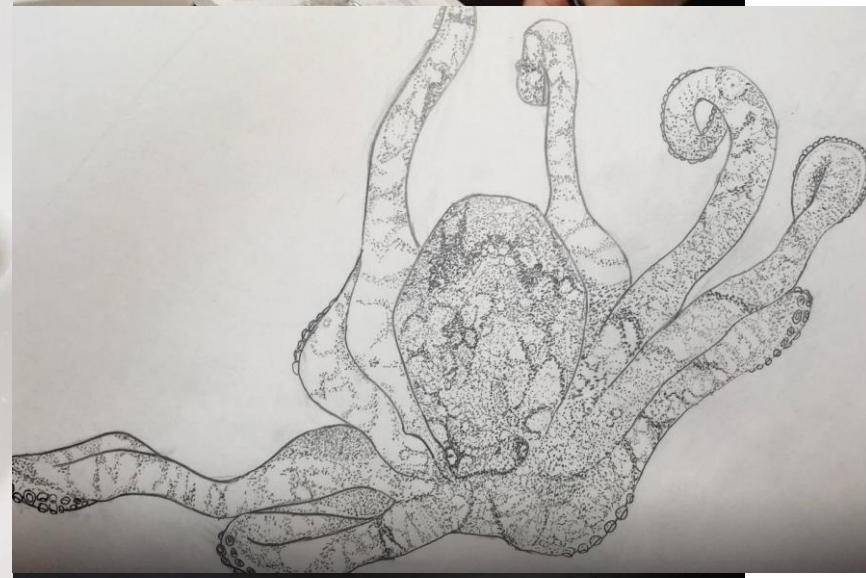
学ぶこと：
サンゴ礁、干潟、砂浜、海草藻場とその生き物、河川水質、外来魚、海岸漂着ゴミやマイクロプラスチックのこと（が多い）。本人の専門は貝類。



海岸生物実習
（読谷村宇座）2019年6月

実験室の風景　2018年6月





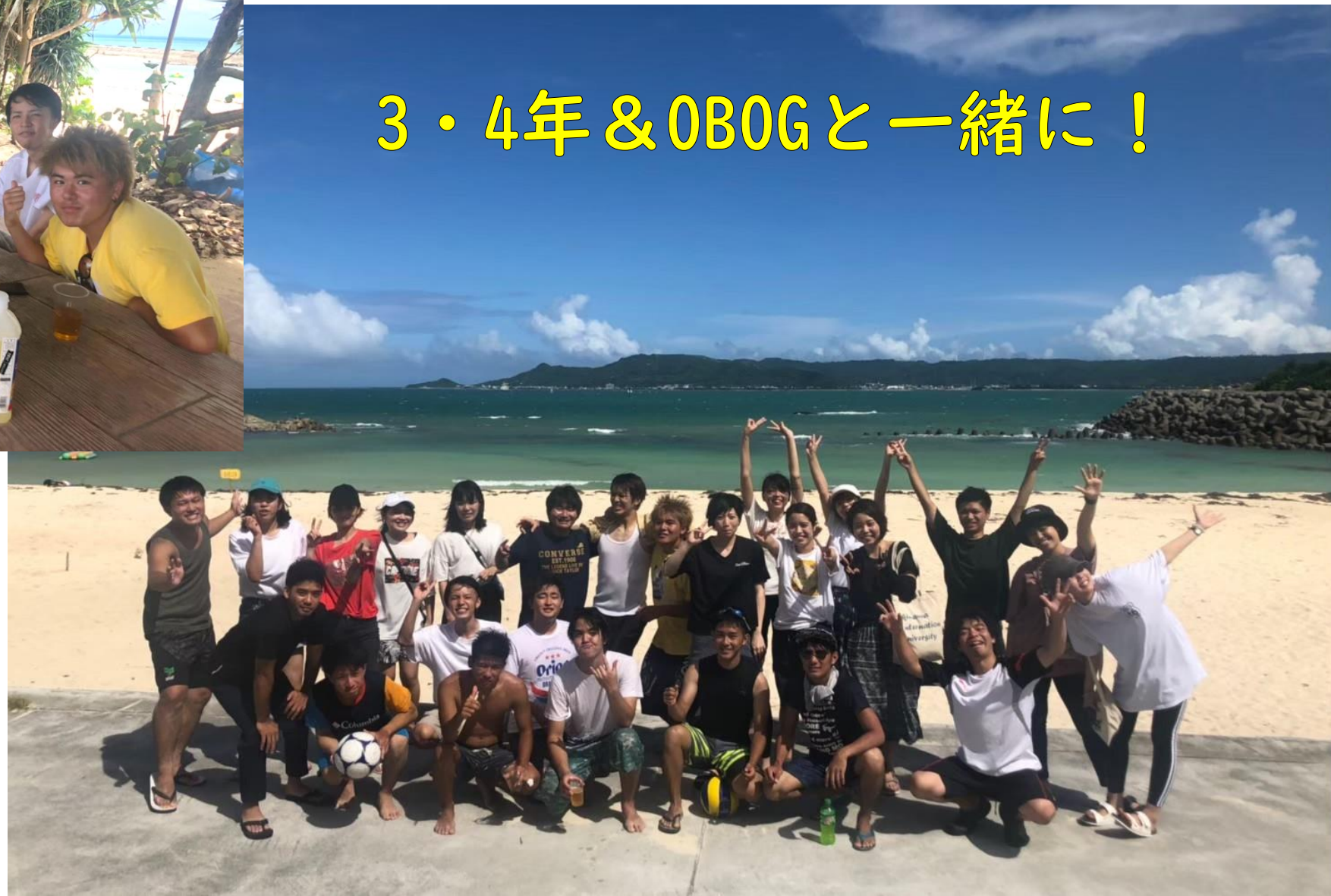
3年生グループ研究
4年生卒業研究

マイクロプラスチック調査

オオウナギ調査

ヤシガニ調査

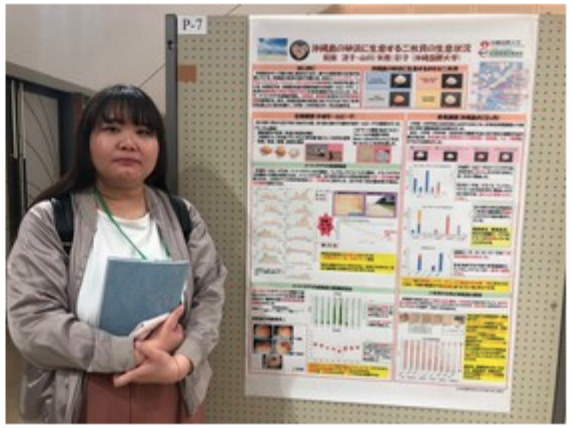
ビーチパーティ2019年8月



研究成果が出たら、学会発表も行くよ！

日本貝類学会で発表～♪

2019年5月17日～18日に東京家政学院大学で開催された**日本貝類学会**で、山川ゼミの祝嶺冴子さんがポスター発表を行いました✨✨✨



沖縄島の砂浜における二枚貝の生息状況

○祝嶺冴子・山川（矢敷）彩子

2018年1月～2019年1月、中城モールビーチの**イソハマグリという小型二枚貝の月別殻長組成、成熟度、繁殖期の推定**、そして**本島内の砂浜の二枚貝の生息状況を20年前のデータと比較**し、発表しました‼　この一年間本当によく頑張りま

学会後の冴子さんのコメント

今回、学会で卒業論文の内容をポスター発表をすること
ういうものかわからないまま準備を進め、**楽しみである**
しました。

貝類学会ということもあり、**貝が好きな人**　が集まって
容で理解できないものも多くありましたが、パワーポイ
説明している方が多く、興味を持って聞くことができま
改善点など指摘してくださったりと、とても勉強になり

発表で印象に残ったのは、**泡瀬干潟でグリーンタイドの**
す。3年次のグループ研究の際に泡瀬干潟の二枚貝の調査
べると、採取できない二枚貝が多くありました。発表で
で、ホソエダアオノリとミナミアオサが大量発生したこ
とを聞いて、グループ研究の際二枚貝の種が減少してい
たということがわかりました‼

発表お疲れ様でした　&　近くの靖国神社に行ってきました

学生と一緒に
進めていきたい研究

1．ヤシガニの公設市場調査
2．野外でヤシガニの赤ちゃんを探す調査
3．ウミガメの上陸、孵化率調査
4．赤ちゃんナマコを探す調査
5．砂浜や干潟の貝類の調査
6．貝塚出土貝類の調査
7．海岸ゴミ＆マイクロプラスチックの調査

3. 砂川かおりゼミ（環境法学・政策論）

砂川かおりゼミの紹介

研究の分野：環境政策論、環境教育

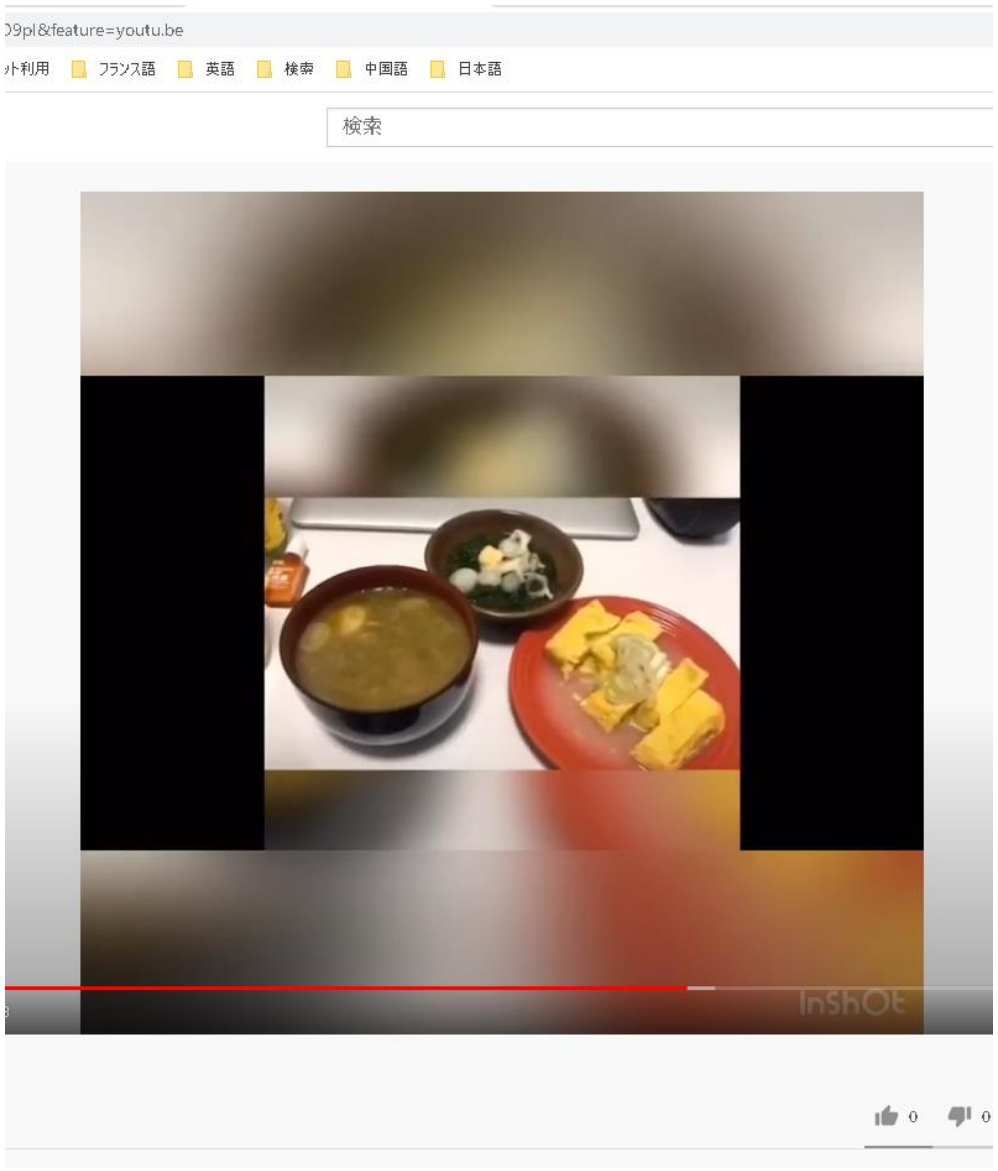
テーマ：湿地教育、アジアの環境問題、
米軍基地の環境問題

研究テーマの例

1. 湿地教育（例えば、泡瀬干潟の渡り鳥の保護、干潟を活かした地域づくり、湿地教育の方法などについて調べ、実践する）

2. アジアの環境政策・環境ビジネス（例えば、香港のスマートシティー計画や湿地教育、中国深圳市における環境技術、韓国における米軍基地の環境問題や湿地を活かした地域づくりなどを調べる）

3. 米軍基地環境問題（例えば、米軍基地周辺の貝中の有機塩素系化合物の濃度分析、普天間飛行場の騒音測定調査、PFAS汚染について日米の政策比較などを行い、改善について政策提言する）



ゼミ生が泡瀬干潟の恵み　アーサーの正しい採り方・食べ方をYoutubeで発信！（湿地教育）

沖縄市立高原小学校での「海の授業」

高原小学校3年生と泡瀬干潟へ（湿地教育）

高原小学校3年生と泡瀬干潟へ（湿地教育）

沖縄市　潮乃森（人工島）　コアジサシ営巣地　観察　（湿地教育）

Okinawa International University's students present

Little Tern Watching

al Policy-

(Photo provided by Okinawa Wild Bird Association)

Did you know that the little terns that were born in Awase tidal flat this year will leave for Australia next month? Before they leave, won't you visit them to say "please come back" and "see you next year"?

We're leading this event because we want to raise awareness about little terns and protect them. We will guide our guests and record the animals and plants we see with the iNaturalist app, to share our observations with the community. If you are interested, please register and join us!

Date & Time: 10:30~13:30 on July 19th, 2020 (Sunday)
If it rains, we will postpone this event to 13:00~16:00 on July 23th.

Goal: A sand bar offshore the Awase Communication Site
Start: Maenohama, a small beach near the Awase Communication Site
(Please check the map on the back)

Instructor: Mr. Masakuni Yamashiro (Okinawa Prefecture Wildlife Conservation Manager; Representative, Wild Bird Society of Okinawa)
Fee: Free (Because this event is part of the University Education Program)

We are accepting up to 3 more students (1 parent for each can join as well).
※ The first 3 to register can join our tour.
Conditions for registration: Elementary – high school students. Everyone must be able to walk independently. It's a long walk and your feet will get wet.

For more detail, please check the information on the back.

To register and ask questions, please contact Ms. Kaori Sunagawa, Assistant Professor, The Department of Regional Economics and Environmental Policy, Okinawa International University, via email (ksunagawa@okiu.ac.jp) or phone (090-1940-0036).

Little terns are visiting Awase Tidal Flat. They arrived after long flights from Australia. If we plant decoys, they will easily find safe places to make their nests.

Let's enjoy making little tern decoys!

Date & Time: 13:30~15:30 on July 24th, 2020 (Japanese Holiday)
※ Registration starts at 13:15.
Venue: Awase Public Hall Library (2-3-26 Awase, Okinawa City)

The Little Terns' Decoys Art 2020

Source: The Aich Branch of Wild Bird Society of Japan Website

We are accepting up to 10 more students (1 parent for each can join as well). The first 10 to register can join our workshop.
Conditions for registration: Elementary – high school students.
Participation Fee: Free. Please prepare the following items:
1. Clothes suitable for painting, 2. Mask, 3. Pencil or Pen,
4. Your favorite paint and decoration, if you want (Event organizer will prepare acrylic paint (white, black, orange, blue), brushes, etc.
To register and ask questions, please contact Ms. Kaori Sunagawa, Assistant Professor, The Department of Regional Economics and Environmental Policy, Okinawa International University, via email (ksunagawa@okiu.ac.jp) or phone (090-1940-0036).

英語でのコアジサシ観察会、営巣地誘引のためのデコイ（模型）づくりを地元で企画・実施（予定）（湿地教育）

OKIU -College of Economics

写真：沖縄野鳥の会

安全な営巣地に

写真：沖縄野鳥の会

デコイ（模型）で親鳥を誘引する

3年次ゼミ活動　香港での調査と活動（アジアの環境政策・環境ビジネス）

CO_2排出ゼロの建物
ゼロカーボンビルディング視察

香港九龍東（活性化）事務所で、
スマートシティー事業の説明を受ける

香港湿地公園での活動（アジアの湿地教育）

香港湿地公園　野外生息地管理体験プログラム（水質浄化のための除草作業）

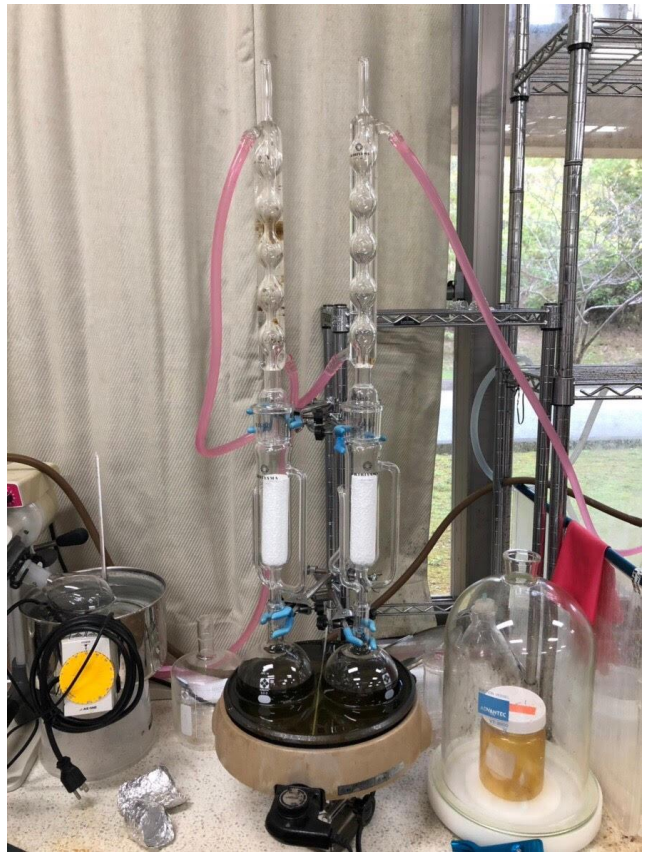
中国深圳市視察
（アジアの環境政策・環境ビジネス）

土地の価格が高いために、ビルが高層化する深圳市福田区。世界４位の高さを誇る平安国際金融センタービルが中央にそびえ立つ

深圳市ドローン産業協会にて様々なドローンと用途の説明を受ける

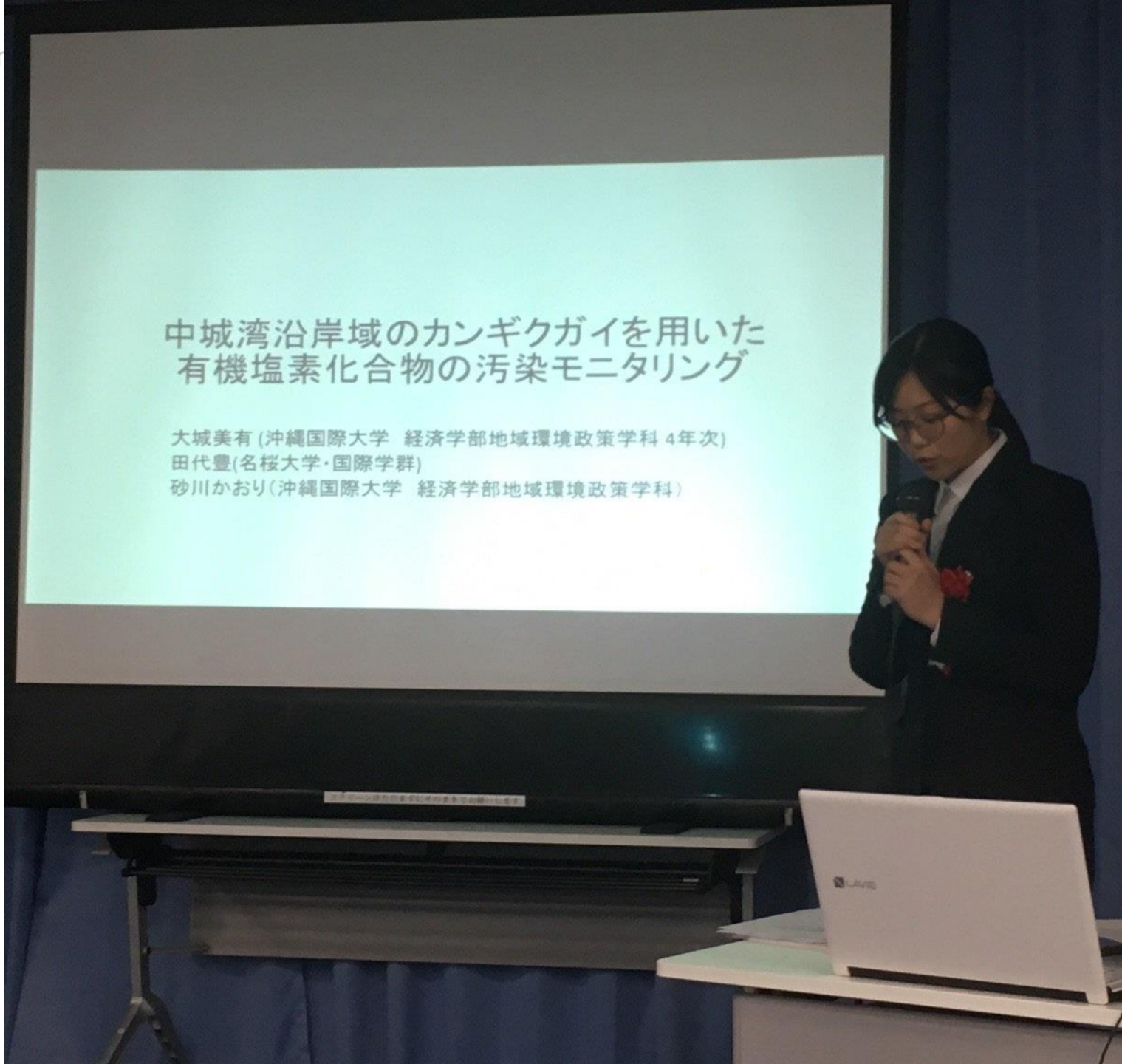
米軍基地環境問題（名桜大学の田代研究室と共同で、米軍基地周辺の貝中のPOPs（有機塩素系化合物）の濃度分析）

貝の軟組織の取り出し



抽出装置で抽出を行っている

濃縮装置で減圧濃縮を行っている



調査後は、沖縄県公衆衛生学会で発表も

4. 齋藤星耕ゼミ（土壌動物学）

齋藤星耕

専門分野：土壌動物学

過去の卒業研究・課題研究から：

1. 生物学

伝統野菜（タイモ）のルーツを探る
サンゴと共生する微生物たちの中から役立つ菌を探す！

2. 機械学習（AI）

お菓子の種類を、振った時の音で判定する機械
空をカメラで撮って天気を判定する機械

3. 再生可能エネルギー

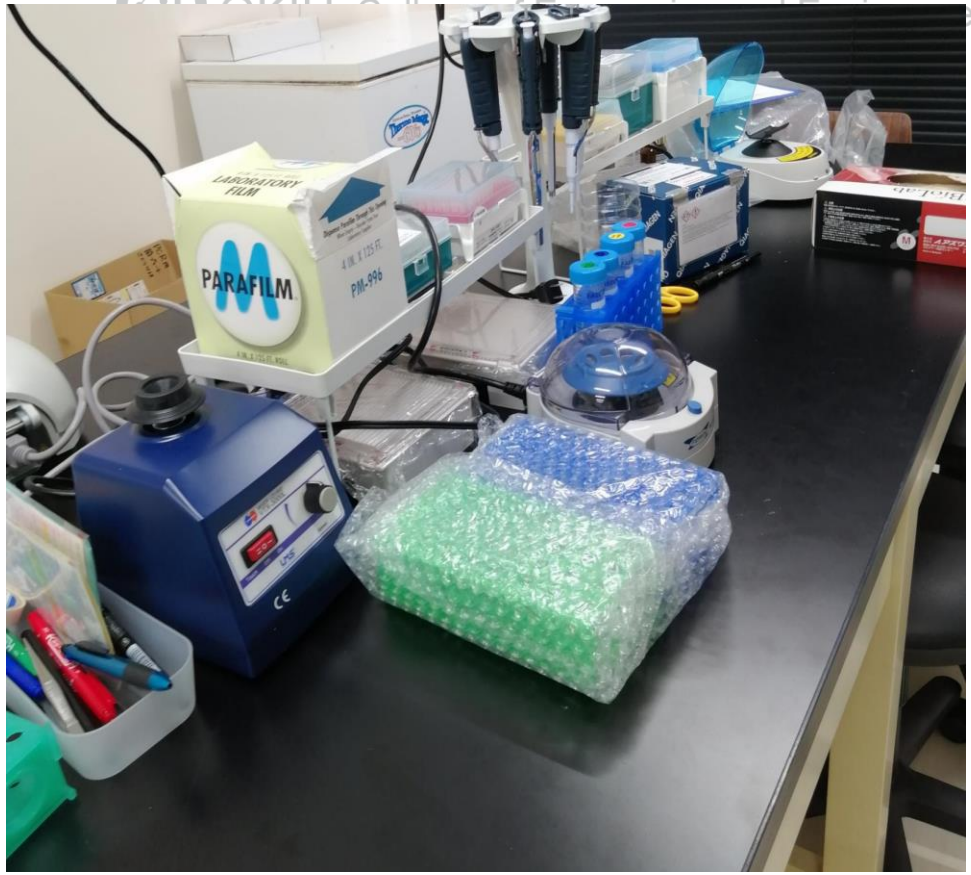
八重瀬町のバイオガスプラントの研究
沖国大スマートキャンパス化構想

土の中に棲む小さな生き物たちの研究をしています。

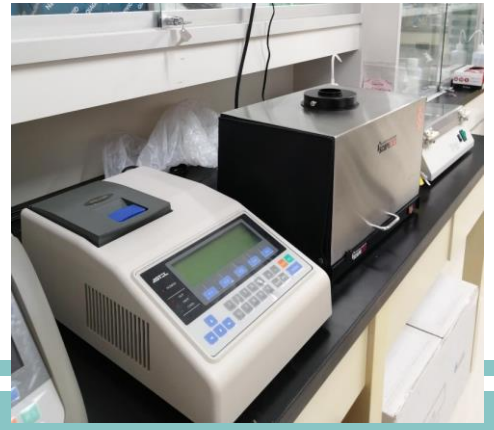
(c) Steve Hopkin

沖縄におけるタイモ
・沖縄への伝来の時期は明らかにされては以内が18世紀初頭には栽培が一般化している
・親芋から子芋を次々と増やすことが出来る栄養繁殖であることから子孫繁栄をもたらす縁起物とされている
・イモの部分だけでなくズイキ(茎)の部分もたべる
・正月料理や体力や胃腸の低下時に食べている
ずいき
図3　ズイキ　(たべるご
https://taberugo.net/2247)

タイモ
・タイモ＝サトイモ、タロイモ
・狩猟採取時代から重要な作物
・農耕の起源に関わったイモの一つ
・インド東から東南アジア大陸内部で栽培化
・世界で年間1000万トン生産されている
図1　タイモ
(https://kuwachi-okinawa.com/agricultural/2480/)


LABORATORY FILM
PARAFILM
PM-996

-60℃



1・本島
2・豊見城市
3・瀬長島

DELMON
SPECIAL WEEKEND
GARAGE

Kam Sweets
1コ 300円
PiPPiのコルネ
1コ 200円

沖縄西濃運
MENU
Tam
300
コルネ
200
PiPPi

教育

毎週金曜日

地球温暖化防止コミュニケーターの資格を取得した（前列右から）沖縄国際大の平良成輝さん、宮城佑香さん、大城祥司さんと齋藤星耕准教授（後列中央）ら＝12日、西原町内

温暖化防止へ資格取得

沖国大生ら4人 環境問題「伝える」

沖縄国際大学4年の平良成輝さん(21)と大城祥司さん(21)、2年の宮城佑香さん(19)、齋藤星耕准教授の4人はこのほど、地球温暖化や気候変動問題について分かりやすく伝える、環境省の地球温暖化防止コミュニケーターの資格を取得した。環境問題を学ぶ中で興味を持ち、若い世代の伝え手として資格を生かそうと意気込んでいる。

平良さんらは経済学部地域環境政策学科に所属する。太陽光や風力発電など再生可能エネルギーを活用し、地域の活性化を目指す研究に取り組む。

社会人に交ざってセミナーを受講したといい、平良さんは「難しい内容もあったが、楽しく学ぶことができた」と手応えを語る。宮城さんも「温暖化対策は一人一人の意識が大切だと思う。小学生や地域の人などに分かりやすく伝えたい」と語った。ゼミで指導した齋藤准教授は「省エネの考え方などは全ての業種で求められる。将来の就職などで行動できるようにしてほしい」と期待した。

27日に就活イベント

オンライン、県内企業参加

企業の採用活動のアウトソーシングに取り組む企業、人事の味方（那覇市、進藤雅文社長）は27日、主に2022年卒の学生に向けたオンライン企業・業界研究イベント「1デイ・オンライン・キャリアフル・オキナワ」を開催する。県内主要企業が参加し、オンラインで学生に情報を発信する。新型コロナウイルスの影響で就職活動が停滞するイベントが停滞する。

情報提供は社会部へ
TEL 098(865)5
FAX 098(865)5

平和へ

りゅうPO

県立辺土

りゅうPON!を読みながらワークシートに書き込む生徒たち＝17日、大宜味村饒波の辺土名高校

授業は宮城教諭が、特別号の内容に沿って作成したワークシートを使って進めた。紙面で紹介した戦争体験証言サイトの映像を実際に視聴した。生徒たちは、苦しげな表情で語る体験者の姿を、真剣な表情で見入っていた。その後、日本軍と米軍の兵力差や両軍の沖縄に対する認識、沖縄戦における犠牲者の特徴などを、紙面で確認しながらしさを次世代に語り継ぎたい「沖縄に住んでいるからこそ和について考えたい」など感を寄せた。

我那覇広瀬さん(16)は「平和学習を受け、自分に何きるのかを考えている。今体験者の証言映像やりゅうPON!の『今沖縄戦に巻き込たら』を読んで改めて戦争ろしさを感じた」と話した。

在学生トーク

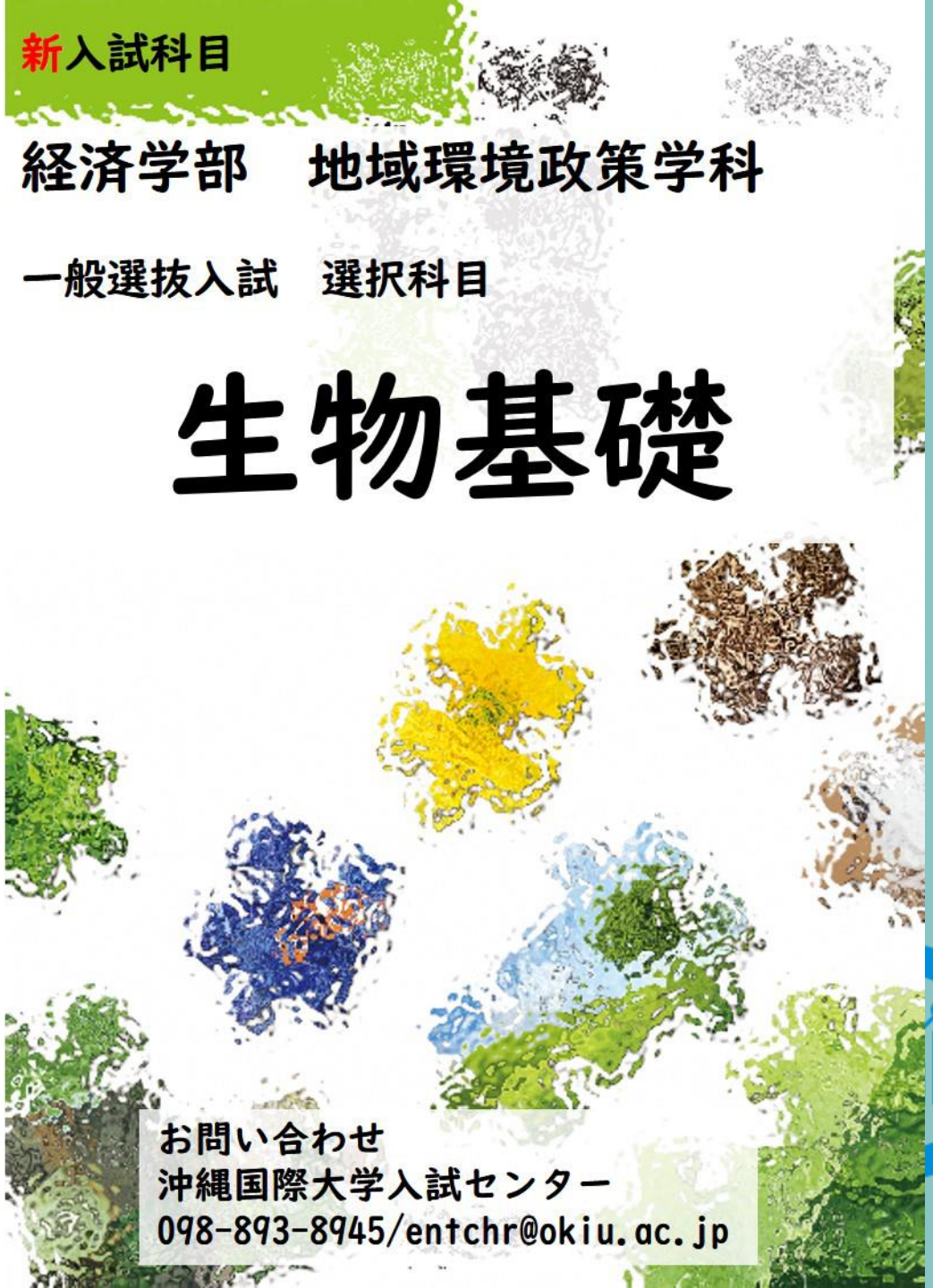
セミ活動、就活、大学生生活のあれこれ

TOKYO BIG SIGHT
東
持続可能な社会の
実現に向けて
ECOLOGY & ENERGY & ECONOMY FOR SUSTAINABILITY
エコプロ2017
環境とエネルギーの未来
12/7木 8金 9土
10:00~17:00

くじ引きで
当たると
100円引き
CHICE

まとめ

沖縄国際大学
新 入試科目
経済学部 一般選抜入試 選択科目
琉球・沖縄史
挑戦!!
万国津梁の魁へ
深く掘れ 己の胸中の泉 余所たよて 水や汲まぬごとに
お問い合わせ 沖縄国際大学入試センター
TEL 098-893-8945 Email entchr@okiu.ac.jp


新入試科目
経済学部 地域環境政策学科
一般選抜入試 選択科目
生物基礎
お問い合わせ
沖縄国際大学入試センター
098-893-8945/entchr@okiu.ac.jp

地域環境政策学科
学科ブログ
見てね！

学科ブログ
はこちら

http://okiueco.ti-da.net/